

## 成績評定・GPA制度について

### 『GPA 制度とは』

GPA（Grade Point Average）は授業（科目）ごとの成績（本学園では優・良・可・不可）の評価それぞれに対して4・3・2・0のグレードポイント（GP）を付け、全履修科目の平均を算出したもので、アメリカの大学で広く採用されている世界に通用する成績評価システムです。

GPAによって学習成果を自分自身で把握することができ、本学園では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、教育理念にも挙げている。学生が主体的にかつ充実した学習成果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。

GPAは、奨学金受給を申し込む際の選考で考慮されています。また、海外留学や語学研修先の大学から公正な成績を示す資料として、報告を求められることもあります。

本学園では、成績の評価及び各評価に与えられるGPについて、以下のとおり定めています。

区分	成績の評語	GP	評価基準	対応する得点
合格	優	4	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。	80点以上
	良	3	到達目標を達成し、良好な成績を修めている。	70点以上 79点未満
	可	2	到達目標を達成している。	60点以上 69点未満
不合格	不可	0	到達目標を達成していない。	60点未満

### 『GPA 計算について』

GPAには、「学期GPA」及び「通算GPA」があります。それぞれ以下の計算式で算出し、小数点第3位以下を切り捨てるものとします。

学期GPA：当該学期におけるGPA

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{（当該学期に評価を受けた科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

通算GPA：全在学期間におけるGPA

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{（各学期に評価を受けた科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数）の合計}}{\text{各学期に評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

注1 履修登録総単位数には不合格の科目も含まれます。

注2 GPAの対象となるのは卒業に必要な科目のみです。

### 『GPAの通知』

成績結果を通知するときに併せて通知します。なお、成績証明書等にGPAの記載はしません。

### 『GPAがおもわしくない学生へのフォローアップ』

1つの学期のGPAが1.0未満となった学生は、本人を呼び出し担任と教科担当による注意と指導を行います。GPA1.0未満が2学期にわたり連続した学生は、本人及び保護者等を交え、担任と教科担当と面接し、就学意思の確認を行います。就学意志がある場合には、担任と教科担当が履修計画を抜本的に見直すなど学習相談を行います。